

□ 目が内側に寄る、外、上、ななめ上にずれる

片方の目の視線がずれている状態を斜視といいます。
内側に寄ると内斜視、外側に向くと外斜視、上に向くと上斜視の疑いがあります。

□ ものを見るとき頭を傾けたり、横目で見たりする

上下にずれる斜視は、ずれを軽減させるために頭を傾け、顔を回して横目で見る場合があります。
眼振（眼の揺れ）がある場合には、揺れが弱まる視線の位置を前に向けようとするため顔を回す場合があります。
強い乱視や遠視がある場合に横目で見ることもあります。

□ ものに近づいて見る

視力が不良の場合は、近づいてものを見る 경우가よくあります。正常な視力の子どもでも、テレビに近づいてしまうことがありますが、視力不良の場合は、遠ざけるとまたすぐに近づいたり、見えにくそうに目を細めたりします。

□ ひどくまぶしがる

まぶしさは、様々な目の病気が考えられます。睫毛内反症によりさかさまつげが角膜の表面についている場合は、まぶしがり、目をこすります。先天白内障のように光の通り道に濁りがある場合や目の中に炎症がある場合は、眼球の中で光が散乱してまぶしく感じます。網膜の病気によってもまぶしがる症状を伴うことがあります。時々眼が外側に向く間欠性外斜視の片目つぶりは、まぶしそうな表情にも見えます。

□ 黒目の中心が白っぽく見える

強い白内障、網膜芽細胞腫、網膜剥離などの目の病気があると、瞳孔（黒目）が白く濁り、白く光って見えることがあります。

□ 親・兄弟姉妹に 弱視、斜視、生まれつきの目の病気の人がある

目の病気の中では、遺伝要因が関係するものがあるので、ご家族の状況を確認している項目です。